

ひろがり

-HIROGARI-

The Shiga Association of Certified Care Workers

2016.6.20
VOL.065

平成28年度 一般社団法人 滋賀県介護福祉士会

定時総会挨拶

日本は現在、2025年の高齢化のピークに向けて介護の基盤整備と共に介護人材確保が大きな課題となっています。

国においても様々な人材確保の検討が行われています。昨年度は地域医療介護総合基金を活用し、滋賀県でもイメージアップ事業・メンタルヘルス事業・資質の向上に関する研修などを行ってまいりました。

今後は、介護福祉士を介護職員の中核を担う者として捉え、その役割・専門性を明確化して国家資格としての介護福祉士の評価を高めていくことが必要であり、そのための取り組みを早く行わなければなりません。その一つとして資格取得後の継続的な研修が必要であり、昨年12月には認定介護福祉士養成研修を行う為の一般社団法人認定介護福祉士認定・認定機構も設立されました。今年度からは全国の数箇所で認定介護福祉士養成研修が行われる予定です。この研修を受講するにあたり、長野県では、フー

ストステップ研修修了が必須です。滋賀県でも、皆様には非ファーストステップ研修をご受講いただきたいと思っております。

私たちは介護福祉士の職能団体として、今後も介護の仕事の魅力の発信・介護福祉士の役割の明確化・キャリアパスの構築などを通じ、さらなる介護福祉士の社会的地位の向上に取り組みが求められています。また、社会に対して影響力を高める為には、会員数を増やし組織率を高めることが大変重要であると思えます。組織強化の取り組みを最重要課題として日本介護福祉士会と力を合わせ、会員数の増加・財政の安定化など職能団体としての基盤整備を進めてまいります。

この4月に発生した熊本県を始めた九州地域の震災に対して、本会でも数名の方がボランティアとして現地での支援にかけました。日本介護福祉士会が災害対策本部をいち早く設置した事で厚生労働省の方から感謝の声がありました。私も5月



会長 村田美穂子

ご報告

平成28年度総会において、左記の議案が会員の皆さまのご協力により承認されましたこと、当日会場に設置致しました「熊本地震義援金」の募金箱に、皆さまの温かいお志が2,100円集まりましたことをご報告させていただきます。尚、義援金は日本介護福祉士会を通じ被災者の皆さまにお届け致します。

議案

1. 平成27年度 事業報告(案)並びに決算報告(案)について
2. 平成28年度 事業計画(案)並びに収支予算(案)について
3. 新役員体制について

日本介護福祉士会 災害救援ボランティアに参加して

5月9日から4日間、熊本県益城町に行きました。ご存じの通り、4月14日に日奈久断層帯の前震と16日布田川断層帯の本震は、震度7以上、さらにその後大きな余震が続いたことから、熊本・大分両県に大きな被害が発生しました。特に大きな被害が集中したのが益城町でした。「まるで怪物が街中で暴れたようだ」と語る住民の方がいました。私が訪れたのは約1か月後で、ライフラインがほぼ回復、学校の再開も近い頃でしたが、崩れ落ちた多くの家屋、生活道路には傾いている電柱があり、陥没あるいはひび割れた道路はそのままでした。避難所では、「崩れ落ちた我が家を片付けているが、全くめどがたないな。でもやらないと...」「片付けるためには写真など思い出もならないかも全部捨てるしかないな...」など、心身ともに疲労困憊になりながらも懸命に被災と向き合っておられる多くの方に出会いました。突然これまでの生活が奪われてしまったことによる被災者の方々の失意・焦燥感は計り知れず、それを想うと胸が痛みます。そして家族を失った方々の悲しみを思います。

厚生労働省や熊本県からの要請を受けて、日本介護福祉士会は、避難所や介護保険施設・事業所へ介護福祉士会会員などの派遣を行いました。このボランティアに参加できるように自身の生活を調整しつつも「今の私で大丈夫だろうか?」との不安を感じていました。この不安を軽減できるよう被災地の状況やボランティア活動内容に関して情報収集を行いました。詳細な情報は控えませんが、今考えると、様々な混乱の続く被災地支援なので、情報発信や管理が不十分なのは当たり前であったと思います。何よりも大切なことは、支援内容が刻々と変わる被災地のニーズにこたえることです。本部スタッフは他の支援団体との細やかな調整を図りながらボランティアをコーディネートしていますので、支援の配置先が直前に分かるという状況もありました。私も支援活動を行いながら被災者のニーズや他の団体との連携状況の把握につとめようと心掛け、その情報は本部に報告しました。

支援が円滑にいくよう協力して頂く、移動時の足の運び、重心バランスや移動環境など、転倒のリスクに注意して観察しました。また、不眠や頭痛を訴える方の話を聴き、バイタルを測定しました。介護事業所では、食事・更衣・トイレ誘導・環境整備などの生活支援と、不安を抱えて気分が安定されない利用者との関わりなどを行いました。これらの活動を振り返ってみると、現地に足を運ばないと見えてこない事はたくさんありますが、被災者の生活や要介護高齢者およびそれを懸命に支える職員にどう仕えていくかを考え、その姿勢で周囲と協力して行くことが必要だと感じました。このことは、日常的な介護福祉士の支援内容と同様であると感じました。

被災地の状況を目の当たりにして強く思うことは、復興には長期間の継続支援が必要だということです。いつでも誰に災害支援が必要となるかは分かりません。介護福祉士としての関わりは被災地支援で十分に活かすことができず、自分が活動可能な日時や内容などをまずは登録するという第一歩を踏み出す勇気をこれからも大切にしていきたいと思えます。

田原育恵

お知らせ -notice-

志高い介護福祉士の皆さん! オシャレなお店で
同志とつながり、熱く語りませんか!?

日時 | 8/27(土) 19:00~
場所 | Kitchen kokoro
滋賀県大津市大萱1丁目9-10 松一ビル1
飲食代 | 3500yen 飲み放題付き
定員 | 20名

参加希望者は、電話・FAX・メールにて事務局までご連絡
ください!

青年部会

事務局

ファーストステップ研修のボランティアを募集します。
ホームページの「研修・講座情報」より今年度の研修日程
をご覧になるか、事務局へ直接お問合せください。
お問合せ・お申し込みは、電話・FAX・メールにてお願い
します。

- ▶お名前
- ▶希望の科目
- ▶電話番号 (連絡がつくもの)

上限1日2名です。
人数等の調整できましたら、こちらから集合時間・会場等
をお知らせいたします。

一般社団法人 滋賀県介護福祉士会 The Shiga Association of Certified Care Workers

〒525-0072
滋賀県笠山七丁目8番138号
滋賀県立長寿社会福祉センター内
TEL:077-569-5133 / FAX:077-569-5173
E-mail: shigakaigo@shiga-jaccw.jp
URL: http://www.shiga-jaccw.jp/



スマートフォンは
こちらから

6月中に!?
HPがスマートフォンにも対応!
見やすくなってリニューアル!

事務局での電話対応時間帯

☎077-569-5133 (平日のみ)

10:00 ~ 12:00
13:00 ~ 16:00

※大変申し訳ありませんが、平日でも研修の対応などで電話をお受けすることができない場合がございます。
お手数ですが、ご用件は、ファックスまたは電子メールでお寄せください。